



アンサンブル・ノマド in 御坊



ENSEMBLE & アンサンブル

響き合う うたごころ



11/14 木

2013

御坊市民文化会館 大ホール
18:30開場 / 19:00開演

出演者

- Ensemble NOMAD
木ノ脇道元 (Fl) 塚原里江 (Fg)
甲斐史子 (Vn/Va) 佐藤洋嗣 (Cb)
中川賢一 (Pf) 宮本典子 (Perc)
佐藤紀雄 (Gt)
- アンサンブル響香
- 宮本太源 (指揮)
- 古久保有亜 (Vn)

曲目

- S. カルディッロ: カタリ・カタリ (1911)
Salvatore Cardillo: Catari, Catari (Core Ingrato)
- ロシア民謡: ともしび (アガニョーク)
Огонёк
- N. イエペス: 愛のロマンス (1952) ~ 「禁じられた遊び」より
Narciso Yepes: Romance (anónimo) ~ Jeux interdits
- N. ロータ: 太陽がいっぱい (1960)
Nino Rota: Plein Soleil
- J.S. バッハ: ヴァイオリン協奏曲イ短調BWV.1041 (1717-23)
Johann Sebastian Bach: Violinenkonzert a-moll BWV. 1041
- アメイジング・グレイス
Amazing Grace
- 花は咲く
(菅野よう子作曲 / 岩井俊二作詞)
- W.A. モーツァルト: アヴェ・ヴェルム・コルプス (1791)
Wolfgang Amadeus Mozart: Ave verum corpus
他

チケット: 全席自由 / 前売り ¥2,500 (当日 ¥3,000)
(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

主催: 御坊・名演奏家を招く会

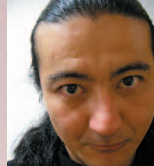
チケットお取り扱い 御坊市民文化会館 ☎0738-23-4881
岡定楽器 ☎0738-22-1590

お問い合わせ 事務局 / 古久保 ☎0738-22-6955

Ensemble
NOMAD



佐藤紀雄 (cond)



木ノ脇道元 (fl)



塚原里江 (fg)



甲斐史子 (vn/va)



佐藤洋嗣 (cb)



中川賢一 (pf)



宮本典子 (perc)

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されている。2002年度に行なった定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は、大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また、2008年10月にはソウルでの「バン・ムジク・フェスティヴァル」などに出演。2009年秋には中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行い、2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年はエストニアとオランダの音楽祭に参加。今後もフィンランドやメキシコでの公演を予定している。近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行っている。

CDは、近藤 譲「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、石田秀実「神聖な社の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。2011年秋にはエベルト・ヴァスケスの「Bestiario (動物寓話集)」が海外でリリースされているほか、2012年11月にリリースされた近藤 譲作品集「表面・奥行き・色彩」が現在好評発売中である。

<http://www.ensemble-nomad.com/>



宮本 太源(みやもと たいげん) : 指揮

和歌山県立日高高等学校合唱部で合唱を始める。大学時代は龍谷大学混声合唱団ラポールで学生指揮者を務め、洲脇光一氏に師事。大阪、ザ・シンフォニーホールにてジョイントコンサートを開催。また、団員としてニューヨーク、カーネギーホールでの公演を果たす。同時期に京都アカデミー合唱団、京都バハ合唱団に所属。桑山博、中村利男、本山秀毅各氏の薫陶を受け、特にルネサンス音楽、キリスト教音楽、ヨーロッパ近現代合唱曲の造詣を深める。1997年、全日本合唱連盟、指揮法マスタークラスのオーデションに合格、大谷研二氏の公開レッスンを受ける。1998年、伊東恵司氏の招聘を受け、なにわコリアーズに参加。副指揮者の立場で躍進期のにわコリアーズを支える。京都バハ・アカデミー合唱団のメンバーとして、佐渡裕氏指揮のステージに出演。現在、和歌山県合唱連盟理事。



アンサンブル響香

2004年、当時は大人の混声合唱団が存在しなかった御坊・日高地方に、現指揮者、宮本らが「この地域に混声合唱を」の思いで創立。現在でも当地方唯一の混声合唱団。「演奏会の開催」と「合唱祭等の合唱イベントへの参加」を主な活動としており、演奏会は過去に5回開催。また、2010年と11年には、京都での「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル」に出演。そこでのライブ録音が、ジョヴァンニ・レコードよりCDとして販売されている。また、今年4月には、大阪ビジネスパークでの「コーラスめっせ2013」に出演。和歌山県外での活動も積極的に行っている。演奏スタイルは、室内合唱的な音質やハーモニーを重視しており、主として無伴奏曲を採り上げている。特に宗教曲においては評価が高い。現在、団員は25名程度。そのほとんどが御坊・日高地方在住の一般社会人である。

<http://ensemblekyoka.web.fc2.com/>



古久保 有亜(ふるくぼ ありあ) : ヴァイオリン

京都市立堀川高校音楽科卒業後、イギリスのロンドンに留学する。英国王立音楽院を卒業後、東京を拠点に都内各オーケストラのコンサートに多数出演。以降さまざまな用途にあわせソロ演奏やアンサンブル演奏会などを企画。これまでに和歌山県立文化会館にてアンドレイ・アニハノフ氏指揮・レニングラード国立歌劇場管弦楽団とチャイコフスキーのワルツ・スケルツォを共演。和歌山市民文化会館にて円光寺雅彦氏指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団とメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」を演奏。千住 明氏のNHK連続テレビ小説「ほんまもん」テーマ曲「君を信じて」をゲスト演奏する(東京サントリーホール/東京フィルハーモニー交響楽団、大阪ザ・シンフォニーホール/関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。)和歌山県御坊市出身。近年故郷に居を移し後進の指導にもあたっている。